農学部

〇ディプロマ・ポリシー

鹿児島大学農学部は、全学の学位授与方針及び農学部の教育目標に鑑み、以下の能力を身につけ、所定の単位を修得した者に学位を授与します。

１．幅広い学術的教養を身につけており、論理的に考えることができる能力
２．農林業および食品・生命科学関連産業に関する専門的な知識を有しており、多様なコミュニケーションをとることができる能力
３．農林業および食品・生命科学関連産業の現場において、専門分野に関する地域社会や国際社会のさまざまな課題に対応する方法や技術を習得しており、問題を解決することができる能力
４．農学に関する研究課題について研究を行い、その成果を研究論文としてまとめることができる能力

〇カリキュラム・ポリシー

鹿児島大学農学部の学位授与の方針に沿った人材を養成するため、豊かな教養を身につけさせるとともに、農学に関連した分野の学問と知識を習得させ、フィールドにおける実践的な力を養うための教育を行います。

１．初年次から卒業まで系統性のある教育課程の編成
① １、２年次では、共通教育科目を中心に履修させ、幅広い教養を身につけることをめざすが、農学の専門領域への導入的な科目も履修させて基礎を養う科目を配置します。
３、４年次では、専門領域の科目を重点的に履修する科目を配置します。
② ２年次から３年次にかけて、教育コース分けを行い、各コースごとに特色のある講義科目により基礎的な理解度を向上させるとともに、本学部の特徴である充実したフィールドトレーニング（実験、実習）により実践力の向上を目指す科目を配置します。
③ ３年次から４年次にかけて、研究室への配属を行い、教員による密接な指導や学生間のコミュニケーションと相互指導により課題研究に取り組みながら、問題解決能力を養う科目を配置します。

２．目的・目標に応じた方法による教育の実施
学位授与の方針に掲げる能力を育成するために、各科目の目的・目標に応じた方法による教育活動を行います。

３．厳格な成績評価の実現

各科目において教育・学修目標と評価基準を明確に示し、厳格な成績評価を行います。

〇アドミッション・ポリシー

＜農学部の教育目標＞

南九州という多様な自然環境と生物資源に恵まれた地域の特性を活かし、フィールド等での実践的な教育を重視し、豊かな人間性と広い視野、応用・実践能力、国際性を備えた農林業、食品産業等及び食住農関連分野の技術者・指導者などの育成を目指します。

＜入学者受入方針（アドミッションポリシー）＞

１．求める人材像

鹿児島大学農学部は、次のような学生を国内外から広く求めています。

- 農林業や食料生産、環境保全、生命科学の農学関連分野に強い関心を持ち、将来これらの分野で活躍をめざす意欲のある人
- 自然科学の幅広い知識と外国語の基礎的な学力を備え、知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力の修得に意欲のある人
- フィールドでの教育に強い関心を持ち、農学に関する実務・実技能力の向上を目指す人
- グローバル化する産業社会に参画し、地域社会、国際社会に貢献することを目指す人

２．入学前に身につけておいて欲しいこと

- 高等学校の国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などの幅広い基礎学力のほか、特に数学、理科の高い知識・能力が必要となります。

３．入学者選抜の基本方針

農学部では、一般入試(前期)、一般入試(後期)及び推薦入試Ｉの方法によって入学者を選抜します。

- 一般入試(前期日程)では、大学入試センター試験に加え、個別学力検査を課し、基礎学力および思考力を評価し選抜します。
- 一般入試(後期日程)では、大学入試センター試験成績による幅広い学力の確認に加えて、小論文形式によって、理論的思考力、記述・表現力、外国語能力を評価し、総合的に選抜します。
- 推薦入試Ｉでは、農学への意欲と勉学・研究への潜在能力をもつ学生を受け入れるため、小論文、面接に基づいて総合判定し選抜します。